



J A種子屋久花き振興会、取引先との意見交換



▲種子島のレザーリーフファンを視察する株式会社中央花卉の斧田社長

3月8日、東京の大田花き市場内の仲卸業者である株式会社中央花卉の斧田清幸社長が来島し、産地の栽培状況の視察や生産者との意見交換を行いました。

種子島のレザーリーフファンは、70名ほどの生産者が9haほどのハウスで生産し、年間300万枚ほど出荷を行っており国内最大の産地となっています。昨年3月には国のGI制度にも登録され、新規・若手生産者も増えるなど今後に期待される部分もありますが、昨年の夏の高温や台風、冬場の低温の影響もあり出荷量が少ない状況が続いています。

斧田社長からは、「出荷量が少なくどのような状況なのか心配していた。ハウスの中ではたくさんの新芽が出ておりこの先の出荷には期待が持てそうで良かった。若手生産者が多い現状もうれしい。販売価格含め産地を応援するので、今後も頑張って出荷してほしい。」と激励の言葉もありました。

花き振興会の片板一郎会長は「東京からわざわざ産地に足を運んでもらえるということは、それだけ必要とされる商材だということ。ニーズに応えられなければ他の品目に取って代わられるかもしれない。そのためにも産地を盛り上げ出荷に取り組みたい。」と語りました。

スナップエンドウ出荷ピーク！

3月中旬、JA管内の集荷場ではスナップエンドウの出荷がピークを迎えています。

連日、集荷されたスナップエンドウを作業員が手作業で選果し、くみあい食品を通じて大型スーパーなどで販売されています。

今期は鳥獣による被害や、2月の寒波によりアラレ被害が一部見られました。樹勢は徐々に回復してきましたが、例年の収量を下回る状況となっています。

出荷は4月中旬ごろまで続き、約257トンの出荷を見込んでいます。



▲スナップエンドウの選果の様子



双子座
5/21
～6/21

【全体運】人との交流に喜びがあります。会合、会食にはできるだけ出席。困っていると手を貸してくれる人も現れそう
【健康運】やる気がアップ。散歩や行動範囲を広げて◎
【幸運を呼ぶ食べ物】タラの芽